

# 人間づくり

世界の平和 人の世のもろさび 人間一生の幸  
運 そのた一番大切な土台となるもの それに  
人間づくりである

人間の出来がよいか悪いか、これが栄えるか 崩れ  
るか滅びるかの根元となる

いつでも 人間づくりが基本である

人生勝利の第一歩は我に勝つことである

# 喜びの縁

我々は生き方を大自然の法則にピッタリと  
合わせねばならぬ。それに心を合わせる人は喜  
びの縁と結ばれる。それに反する人は悲しみの  
縁とつながる。悲喜それは心の持ち方一つで  
左右される。

われわれはしっかりと守られてしっかりと生まれた  
だから自分で自分を守る生き方はおろかである  
自分の全身全力全霊を他にたくすまへげる  
配る

その生き方が天地の基本に副<sup>そ</sup>う生き方ではあるまいか

## 姿なき鏡

自分の家庭が自分を映すカガミである  
自分の仕事場も人相も運命もすべて  
は自分の鏡  
自分の本体が映し出されたカガミである

人間至高の道は心を広く明るく豊かに  
保つことである陽気な生きるとした  
心サラサラと流れるようになさあやかさが  
大切である

りっぱな人でもこんな人と思えば本当に  
こんな人になるよ

つまらないと思われるような人でも後からおが拝め  
ば本当におが拜まれるような人になるんだから

たゆまず磨く

毎日握られる電車のハンドルは光っている  
金で作った人形でも凹んだ箇所はほころびが  
ついている 毎日たゆまず磨く 鍛える これは  
いつの間にか その人の人格を美化する  
性格をつくりかえる



相手を不足に思えるという事は自分に持つだけの徳がないという事だよ

親を不足に思える子供を不足に思える夫や妻を不足に思える上司や部下を不足に思えるそれは皆よい親よ、子よ、夫や妻よ、上司や部下を持つだけの自分に徳がないという事だよ

人になるほどと思わさうと思つてはいけな  
自分がなるほど〜と思つただけ感心した  
だけ人になるほどと思つてもらえる理がでまる

## 健康の基本

腹が立つ眠れないそれは自分に囚とらわれているからで  
あるわれがぬげきれないで自分を抱かいている  
自分を放す体も心も空けるそうすれば天地に  
抱かれる資格ができる 快眠 快適 快便と  
なして健康の基本が出来る

仕事をつくって心をつくる

仕事をすませても心を澄ませる

人間は常に自分を世の中の片すみにおいて  
つましやかに生かせること世の中の表に出たがる  
この生き方にはあせりがある

表に出ることをあせらるより自分の内容をよく  
することに全力をつくす(べき)である

# 肝きもの太い人

自分のことに囚とらわれたら誰でも肝きもが小さくなる  
相手の気持がわかる相手の身になって考える  
このゆとりが肝きもの大きさを表明する肝きもが太  
いといわれる人である

## 人生の逆転劇

行きづまり終点これを心細いと思ふのはまちがて  
いるこの世の中は人間の知恵や力でできたのではない  
ゆきぬきささげつくして本当に力がつきたのなら  
その時から天の守りが始まる

人生の逆転劇極まれば必ず道は開ける

松の種たねとカボチャの種たね

松の種は形は小さいしかし大樹になるカボチャの種は  
大きいしかしカボチャの大木は見ることがない  
大きい種よりも大きくなることを許された運命の  
種これがはるかにたのもしい物や金を沢山つかんでも  
そこに争いが加わっているようでは運命は伸びない  
形よりも許しが大切である



# 落ちついた心

よく思われない上手にやりたいよい結果を求め  
ゆる心を取り越し苦勞になります 何も求め  
ないただ全力をつくすのみ人事を尽くして天命  
を待つこの構えが落ち着いた心を生み出します

世界は一家 人類は皆すべて兄弟  
真理こそ天地宇宙を包む大自然  
の心である

## 人間同士

自由主義の人も社会主義の人も人間として  
生まれてゐる。同じ人間がそれぞれの仕事役  
目を持って働いてゐる。その総体がこの世の姿で  
ある。お互いに人間同士であることを忘れて  
憎しみ合つたり殺し合つたりすることはまづたぐはか  
ばかしい。親しみの尊ぶを知るべきことである。

# 運命の冷蔵庫

人間の心も順調になれては腐るをわきまから天はその人を冷蔵庫に入れるのである。神も仏もなにかと思われるような冷酷な運命。運命の冷蔵庫。神や仏があればこそその腐りやすい心を惜しんで冷蔵庫に入れて下さるのである。そこには次のくる日も日の役に立てたという親なる天の思いがある。

宿る生れる育つ学ぶ幼く老いる死ぬ  
これが大自然にならうて人間が前進する道  
である天が生まれよと命じ死がきたら  
肉体を天に返すその過程が人生である

争いは常に自らの鍛練のために役立つ  
こゝろ思えば有難い 油断は禁むつ  
争いは相手を本当に知る 近道である  
只互いに傷つけあうほどの争いはおろかである

## 他人の欠点

他人の欠点を正すことより他人の欠点が目につく  
耳にきこえるそのことを反省してみるこれが自分の  
心の姿であることに気がつく 相向かう人のすべ  
ての中に自分の本当の姿が映っている

回りを早くなんとかしようとあせると  
あせるとゆとりがなくなる ゆとりがなく  
なると回りの人々の心まで暗くして そして  
自分の運命まで自分でくずしゆくのです



どんなことでも自分の心におちつくと  
ゆとりがあれば結果は願わなくても  
思ったより良いことになります

人にどうでいてきない無理なことをいわれた  
時にはね、それは機嫌よくして言うこときかな  
ければいよ、もし相手がおこうたらね、それは  
相手のつごうでおこうてゐるんだから、つごう  
にまかせたらいいよ、ほこりはよけて通れと  
言うだらう、それを心を暗くして不足するからいかん

# 不幸の種たね

名譽も地位も財産もつり合せて持つ  
許されて持つ許されてつり合せて持たものは  
不幸の種たねにはならない

無理につかんで持たたら不幸不自由と縁を結ぶ

わかるというのとそれが実行できるということとは全然ちがうことだよ

「桃栗三年柿八年」というだろう 種たねをまいて  
実がなるというところはわかっているけれどもそれが実る  
までには何年もかかるんだからわかっていても  
実行できるまでには年限かかるんだよ

人の心に強い痛みを与える人の人生をつぶす  
めぐりめぐりそ今度は自分の人生がわれ  
心に大きな痛みをうけねばならぬのは  
天地がきめた自然の道理である

お仕込<sup>しこ</sup>み（その人のためを思て厳しく注意すること）

はよくないなあ 人を助けるためでもよくないよ  
（注意をした人の）家<sup>うち</sup>々<sup>々</sup>がさみしくなるよ  
そんな言い方<sup>かた</sup>しなくてもわからせる道<sup>みち</sup>は  
いくらでもあるだろ

## 方向転換

人の一生はあつとゆう間に過ぎてしまふ  
生まれてきた人間に死は最後の方向転換  
を命じるが生死一処だ死も又ありがたいと感謝  
する心が生の運命にいい影響を与ふる